

令和5年度 障がい者福祉活動サポート交付金【社会参加活動】 交付申請事業者等一覧

■ 交付限度額：100,000円

	法人名	事業者名等	活動内容	交付申請額	
1	(福)県央福祉会	いからしの里	<b>ふれあい感謝祭</b> 実施予定：令和5年10月上旬(6回目)	地域住民、利用者の家族、関係者等へ日頃の感謝を込めて開催し、気軽に参加できる地域に根付いたイベントを目指す。また、事前準備の段階から利用者に参加していただき、会場準備や制作の手伝い等を通して張り合いのある生活を送っていただくとともに、当日来場者を迎える喜びを感じていただく。(目標来場者100人) NAMARA やボランティアによるステージ発表に活用。	100,000円
2	(福)県央福祉会	いからし工房	<b>楓の森ふれあい販売会</b> 実施予定：令和5年4月～6月(3回目)	販売会に向け、利用者の方々が自分たちの手で栽培、加工等の色々な作業に携わりながら準備を進めていくことで、協調性、意欲向上又は自立支援の一助となることが期待できる。販売会当日は、利用者自身が責任を持って役割を全うすることで、社会参加、地域交流につながっていくことを目的とする。 イベント案内広告、来場者プレゼント、模擬店等の経費に活用。	100,000円
3	(福)県央福祉会	・長久の家 ・地域活動支援センター長久	<b>クリーン活動&amp;花いっぱい活動</b> 実施予定：令和5年4月～令和6年3月(11回目)	コロナウイルスが5類になることで、花いっぱい活動を通じ近隣の方との交流を再開し、地域で暮らす障がい者を改めて知ってもらい、障がい者への理解をより深めてもらう。清掃活動を通じて障がい者自身の社会参加、社会貢献の意識を高める機会とすることができる。(利用者参加目標30人、地域住民参加目標10人) プランター、培養土、花の苗、清掃用具等の購入費、参加賞等に活用。	172,000円 (内訳) ・長久の家 100,000円 ・地域活動支援センター長久 72,000円

	法人名	事業者名等	活動内容		交付申請額
4	(福) 県央福祉会	杉の子工房	<b>地域住民に向けた自主製品販売会</b> 実施予定：令和5年4月～11月（3回目）	コロナ禍でR2年度より隣接しているガーデンのぞみにて自主製品販売会を開催してきた。毎月第三木曜に定期開催してきたことで、固定客も増えた。利用者もチラシのポスティングや販売会当番で地域の方々と交流が持て、意欲的に参加している。今後はさらにチラシ配布地域を増やし、より多くの地域の方から事業所の活動への関心と理解を持っていただけるような機会としたい。また、製造量と売り上げを増やし、工賃向上につなげたい（売上目標1回当たり85,000円） 金庫、販売用袋、チラシ等に係る経費等に活用。	100,000円
5	(福) 青空福祉会	相談支援センター青空	<b>第12回精神保健福祉フォーラム</b> 実施予定：令和5年10月14日（土）（8回目）	年々増加傾向にある精神疾患や精神障がいを抱える方の状況や活動の様子などについて、講演・当事者発表及びディスカッションを通じて広く市民・関係者等に理解していただくことで、障がいの有無に関わらず、誰もがお互いに人格と個性を尊重し、支え合う「共生社会」の実現を目指す。（目標来場者150人） ポスター及びチラシ作成費、当日資料に係る消耗品費、講師謝礼金、会場使用料等に活用。	200,000円 ※本活動は、精神障がい啓発活動に関するものであることから上限200,000円
6	(株) スターライン	地域活動支援センター BYSN	BYSN 体験イベント	BYSNの主活動であるコーヒーをすること、そして作ったコーヒーを飲んで楽しんでもらい、近隣住民に障がい者の活動の場であることの認知を拡大させていく。（目標参加人数：100人） コーヒー豆購入、参加ノベルティー、フライヤー印刷費に活用。	100,000円

令和5年度 障がい者福祉活動サポート交付金【自立支援活動】 交付申請事業者等一覧

■ 交付限度額：500,000円

	法人名	事業者名等	活動内容	交付申請額	
1	(福)県央福祉会	いからし工房	<p><b>生産力向上及び認知力アップを図る自主製品製造活動</b></p> <p>実施予定：令和5年4月1日～令和6年3月31日</p>	<p>自主製品として、しいたけの加工・販売を行ってきたが、販路を拡大していく中でシイタケの加工に多くの時間を要している現状がある。また、加工に携わる利用者が限られているため、機器を導入し、多くの利用者が携われるようにすることで、活躍の場が広がる。</p> <p>また、今後コーヒーのテイクアウト販売を定番商品としていくことを想定し、利用者が地域に出かけて販売する機会が増えることで社会的自立にもつながると考えている。自宅用・贈答品用のドリップコーヒーと共に看板商品として、工賃アップにつながるよう進めていきたい。</p> <p>生しいたけスライサー、ポータブル電源、全自動コーヒーマシンの購入に活用。</p>	467,000円
2	(福)県央福祉会	杉の子工房	<p><b>自主製品の製造量アップによる工賃向上</b></p> <p>実施予定：令和5年4月1日～令和6年3月31日</p>	<p>自主製品（菓子・野菜）は隣接する公園での事業所独自の販売会、虹のマルシェ、市役所ギャラリー、自動販売機、販売会等で販売し工賃向上につなげてきた。また、更に常設販売所も増える予定であり、製造量をあげる必要があるが、ペーストを保存する冷凍庫の容量が足りない現状がある。菓子の材料となるさつまいもの角切りやペーストは冷凍で1年間保存できるためR4年度分として270kg作ったが後半は足りなくなり販売量を抑えながら調整してきた。冷凍庫を購入することで年間使用するペースト量を270kgから400kgに増やし、菓子製造量をアップさせる。また、製造量を増やすことで拡大する販路の需要にしっかりと応えられるように在庫を準備していきたい。(売上目標150万)</p> <p>テーブル型冷凍庫の購入に活用。</p>	500,000円

	法人名	事業者名等	活動内容		交付申請額
3	(福)三条市 手をつなぐ 育成会	すてっぷ	地域住民に向けたアルミ缶回収事業 実施予定：令和5年4月1日～令和6年3月31日	事業所敷地内にて、回収ボックスを設置し、アルミ缶の回収を行う。 これまで、アルミ缶回収場所は地域の方には見えない場所だった為、回収を行っている情報が限られた方にしか発信されていなかった。今回の活動で、地域住民の方が投函しやすい場所に回収ボックスを設置し、チラシの配布や呼びかけなどを積極的に行い、アルミ缶回収について広く知って頂けるように広報活動も行っていく。 地域住民から協力を得て回収量をアップし、広報活動も行う事で、利用者の工賃向上につながり、障がい者福祉についての理解にもつながると考える。 これまで、毎年年間5万円程度の収入であったが、今回の活動を行う事で収入20%アップを図る。 アルミ缶回収ボックスの購入に活用。	222,000円
4	(福)ひめさ ゆり福祉会	ピュアハウス	”ボカシで元気！ ありがとうのお花運動”及びなめこ栽培・販売による工賃向上 実施予定：令和5年6月1日～令和5年12月下旬	昨年好評だった”ボカシで元気！ありがとうのお花運動”にまた参加したいという意見をたくさんいただき、今年は規模を拡大して実践する。 また、昨年から専門家の助言を受けながら手探りで始めたなめこ栽培。栽培、収穫、販売などで得た売り上げを利用者に工賃として還元できた。地域の方にも大好評で今年は菌床を増やすため作業台を購入し、工賃アップにつなげる。 プランター、肥料、花苗、ボカシ、アグリベンチ等の購入に活用。	210,000

	法人名	事業者名等	活動内容		交付申請額
5	(福)青空福祉社会	きずな工房会	<b>利用者の工賃向上のためのじづ販売機の購入</b> 実施予定：令和5年4月1日～令和6年3月31日	利用者の作業訓練と工賃アップを図るため菓子を製造し、caféりあん・各種イベント・虹のマルシェ等の販売会で販売している。一定の売上はあるものの大幅な売上増加には至っていない。また、きずな工房の認知度についても徐々に高まってきているが、十分とは言えない状況である。これらを解決するため、菓子専用の自動販売機を購入し、大勢の方が利用する公共施設（体育文化会館を予定）に設置し、菓子売上を増加することで作業工賃の向上を図る。 ロッカー型自動販売機の購入に活用。	500,000円
6	(福)青空福祉社会	青空地域生活支援センター	<b>障がい者の就労意欲の向上に向けた活動</b> 実施予定：令和5年4月1日～令和6年3月31日	当センターが提供するサービスの一環として、就労に関する相談、就労に必要な情報提供のほか、切手切り、エコキャップ・封筒作り等の作業も体験している。現在、作業手順等の説明は主に口頭で行っているため、利用者が理解するまで時間を要していることから、利用者が必要な時にいつでも書面で作業手順等が確認できるようにすることで、作業内容等を短期間かつ正確に理解・習得できることが可能となることで、就労意欲の向上につながり、その結果、障がい者の就労支援が図られる。 ネットワークボードの購入に活用。	280,000円